

MEIKO REPORT

第44期 第2四半期 株主通信

(2018年4月1日から2018年9月30日)

証券コード：6787

株式会社 **メイコー**



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
2019年3月期上期の業績についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 **名屋 佑一郎**

上期の業績について

当社の主要な販売先である車載向け基板は、貫通4層基板から6～8層への多層化を伴いながら販売が増加いたしました。また、自動運転などの走行安全分野とLEDヘッドライトに代表される金属基板の販売が拡大いたしました。こうした需要トレンドに対して、新規提案や試作などの受注拡大政策を積極的に推進いたしました。また、スマートフォン向けの基板は韓国系、中華系ともに販売が増加しておりますが、ビルドアップ基板を更に拡販するため、今年度注力をしているIoTモジュールやAIスピーカー向けの基板の拡販も着実に進行いたしました。その一方で、米中貿易戦争を背景に、景気の低迷など先行きの不透明感が強まってまいりました。

2019年3月期上期の業績につきましては、売上高は617億58百万円となり、前年比85億45百万円の増収となりました。利益面につきましては、工場の稼働が高い水準で推移したことなどから、営業利益は56億74百万円、経常利益は63億45百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は53億31百万円となりました。

下期の見通しについて

2019年3月期通期の業績につきましては、上期の業績が好調に推移したことを受けて見通しを修正することといたしました。売上高1,200億円、営業利益92億円、経常利益90億円、親会社株主に帰属する当期純利益73億円とそれぞれ修正いたしました。下期につきましては、例年中国の国慶節や春節、ベトナムのテト休暇などの大型休日があり、稼働日数が減少するため販売への影響を受けますが、下期にはこれに加えて米中貿易戦争による世界経済への影響が懸念され始めており、自動車向けやスマートフォン向けの基板の販売は弱含みで推移する見通しとなっております。

投資計画について

当期の投資につきましては、120億円の投資を計画し、上期に検収ベースで99億円の投資を行いました。下期は投資規模を拡大することとし、通期で150億円の投資を行う計画といたしました。主な投資としては、ベトナム工場において、先端基板を生産する第3工場と、フレキシブル基板とEMS事業を強化するための第1工場の増床を行っております。国内では、山形工場と石巻工場の車載分野の先端基板の投資を進めるとともに、福島工場では第2工場を建設いたしました。その他の工場においても先端基板への投資、省人化・自動化投資に加え、旧式設備の入れ替えによる生産能力アップと品質の向上を行ってまいります。当社ではこうした投資を通じて、将来の基板需要の増加へ積極的に対応してまいります。こうした投資を活かして、更なる生産性と品質の向上を進めつつ、利益率の向上を進めます。特に、自動運転に代表される車載先端分野への対応や、5Gへの対応が始まるハイエンドスマートフォン向け基板の量産対応については、これからの戦略の根幹となる投資であります。

株主の皆様をはじめ、すべてのステークホルダーのご支援、ご期待に応えるべく、改善のための各々の施策に全力で取り組み、業績と企業価値の向上に努めてまいります。今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

生産能力の増強について

当期の投資は120億円を予定しておりましたが、需要動向や利益率を向上するための取り組みとして30億円追加して150億円といたしました。

ベトナムでの工事の進捗について

車載

高周波

大電流

高放熱

スマートフォン

M-SAP

第3工場建設



FPC及びEMS工場の拡張を実施し
生産能力を拡大する

第1工場の増設





ベトナムでの生産能力拡大計画

(単位:千㎡/月)

	2018年	2019年	2020年	2021年
車載貫通板	40	80	120	150
ビルドアップ	70	75	80	85
FPC	20	25	35	45

お客様のニーズに合わせ、新製品の開発スピードを速め、タイムリーな量産体制の整備に取り組んでおります。

2019年7月量産スタート

国内の投資

福島工場は建屋の建設が終了し、設備の搬入を開始しています。主にFA機器、IoT機器向けの基板を生産する予定です。



11月9日に福島第2工場の竣工式を執り行いました。



当期、国内工場には30億円の投資を行います。福島工場以外でも、山形工場、石巻工場では先端車載基板の生産設備を導入し、量産を開始いたします。その他の取り組みとして、すべての工場において自動化・省人化を加速し、生産能力の増強に積極的に取り組んでまいります。

MANAGEMENT
VOICE

VOL. 5

取締役常務執行役員
松田 孝広

2019年3月期上期は、回路基板業界の安定した需要推移の中、当社も車載向け基板はボディー系、パワートレイン系の好調な需要を背景に6層以上の貫通板の販売が増加し、またスマートフォン向け基板は全体では鈍化傾向にあるもののアセアン、インド等新興国向けの需要増加を背景にビルドアップ基板の販売が増加しました。

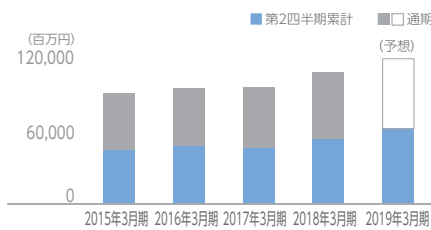
下期は中国の国慶節、春節、ベトナムのテト休暇等の大型連休の影響、米中貿易摩擦による中国経済への影響により需要の減少が見込まれますが、ベトナム第3工場をはじめとする全工場スマート化による高品質、高生産性工場の実現、新商品の開発スピードアップによる早期量産化、車載市場拡大及び先端分野の需要拡大に対応し、ベトナム及び国内工場の増産対応等、積極的に取り組んでまいります。また、利益率向上の取り組みとして製造部門では様々な取り組みを行い改善しておりますが、間接部門でも革新的生産性改善プロジェクトを立ち上げ、その生産性の向上に努めてまいります。

引き続き皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



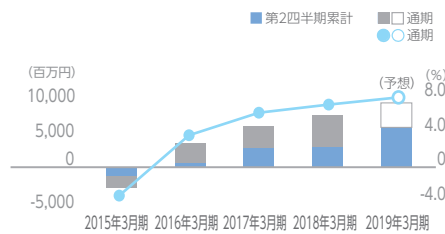
売上高

61,758 百万円



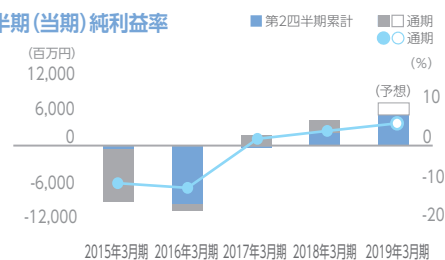
営業利益 / 営業利益率

5,674 百万円



四半期(当期)純利益* / 四半期(当期)純利益率

5,331 百万円



*「四半期(当期)純利益」は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」を指します。

連結損益計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期(累計) 2017年4月1日～ 2017年9月30日	当第2四半期(累計) 2018年4月1日～ 2018年9月30日
売上高	53,212	61,758
売上原価	43,958	50,339
売上総利益	9,253	11,418
販売費及び一般管理費	5,389	5,744
営業利益	3,864	5,674
営業外収益	261	1,641
営業外費用	1,306	970
経常利益	2,819	6,345
特別利益	0	1
特別損失	162	129
税金等調整前四半期純利益	2,657	6,217
法人税等	545	886
四半期純利益	2,112	5,331
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△28	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,140	5,331

連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前期末 2018年3月31日現在	当第2四半期末 2018年9月30日現在
資産の部		
流動資産	56,369	60,119
固定資産	53,946	60,342
有形固定資産	49,732	55,075
無形固定資産	210	249
投資その他の資産	4,003	5,016
資産合計	110,316	120,461
負債の部		
流動負債	48,924	49,004
固定負債	28,349	38,342
負債合計	77,274	87,346
純資産の部		
株主資本	29,638	29,426
資本金	12,888	12,888
資本剰余金	11,745	6,464
利益剰余金	5,400	10,470
自己株式	△396	△396
その他の包括利益累計額	3,403	3,687
その他有価証券評価差額金	21	11
繰延ヘッジ損益	298	304
為替換算調整勘定	3,512	3,768
退職給付に係る調整累計額	△428	△397
純資産合計	33,042	33,114
負債純資産合計	110,316	120,461

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期(累計) 2017年4月1日～ 2017年9月30日	当第2四半期(累計) 2018年4月1日～ 2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,759	6,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,336	△9,153
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,280	△774
現金及び現金同等物に係る換算差額	248	153
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,609	△2,873
現金及び現金同等物の期首残高	17,196	15,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,586	12,316

財務のポイント

●連結損益計算書

車載基板分野ではボディー系、パワートレイン系の需要を背景に6層板以上の貫通基板が、スマートフォン分野では顧客の旺盛な需要によりそれぞれ販売が増加しました。その結果、当第2四半期の連結業績は、売上高617億5千8百万円(前年同期比16.1%増)、営業利益56億7千4百万円(同46.8%増)、経常利益は63億4千5百万円(同125.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が53億3千1百万円(同149.1%増)となりました。

●連結貸借対照表

総資産は1,204億6千1百万円となり、前期末比101億4千5百万円増加しました。これは主に、流動資産において現金及び預金が28億7千万円減少、受取手形及び売掛金が37億9百万円増加、たな卸資産が25億1百万円増加、固定資産において有形固定資産が53億4千2百万円増加したことによるものです。

純資産は331億1千4百万円となり、前期末比7千2百万円増加しました。これは主に、資本剰余金がA種優先株式の取得により52億8千1百万円減少、利益剰余金が50億7千万円増加、為替換算調整勘定が2億5千6百万円増加したことによるものです。

上期の販売内訳と通期の業績見通し

2019年3月期上期 製品別収益

(単位: 億円)

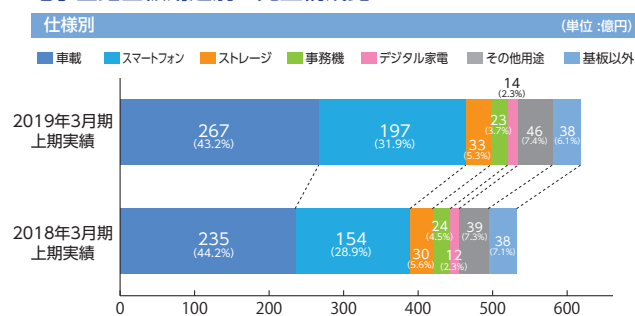
	2018年3月期上期		2019年3月期上期		増減	
	売上	営業利益 営業利益率	売上	営業利益 営業利益率	売上 伸び率	営業利益 伸び率
車載	235.4	16.1 6.8%	267.3	19.1 7.1%	31.9 13.6%	3.0 18.6%
スマートフォン	153.7	15.7 10.2%	197.2	28.5 14.5%	43.5 28.3%	12.8 81.5%
その他	143.0	6.8 4.8%	153.1	9.1 5.9%	10.1 7.1%	2.3 33.8%
合計	532.1	38.6 7.3%	617.6	56.7 9.2%	85.5 16.1%	18.1 46.9%

2019年3月期業績見通し

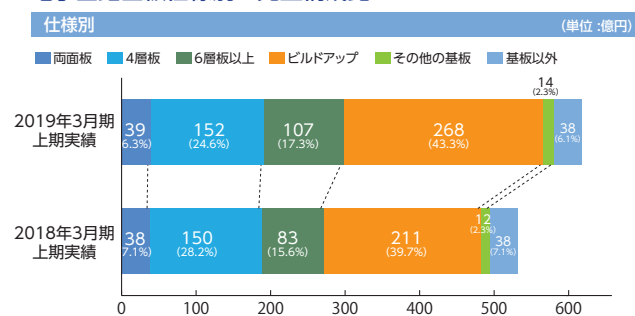
(単位: 億円)

	2018年3月期 通期実績	2019年3月期		増減率
		当初計画	修正計画	
売上高	1,085.4	1,180	1,200	114.6% 10.6%
営業利益	74.6 6.9%	82 6.9%	92 7.7%	17.4% 23.3%
経常利益	48.0 4.4%	68 5.8%	90 7.5%	42.0% 87.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	43.7 4.0%	60 5.1%	73 6.1%	29.3% 67.0%
為替	YEN/USD	110.66	106.00	110.00

電子回路基板用途別の売上構成比



電子回路基板仕様別の売上構成比



コーポレートデータ (2018年9月30日現在)

会社概要

商号 株式会社メイコー
 設立 1975年11月25日
 資本金 12,888百万円
 従業員数 12,106名(連結)
 (国内811名・海外11,295名)
 主な事業内容 電子回路基板等の設計、製造および販売
 ならびにこれらの付随業務に関する電子
 関連事業

役員

代表取締役社長執行役員	名 屋 佑 一 郎
取締役専務執行役員	平 山 隆 英
取締役専務執行役員	篠 崎 政 邦
取締役常務執行役員	松 田 孝 広
取締役常務執行役員	和 田 純 也
取締役	申 允 浩
取締役	土 屋 奈 生
常勤監査役	伊 豫 本 齊
監査役	原 田 隆
監査役	佐 藤 孝 幸

関連会社

株式会社山形メイコー	電子関連事業
株式会社メイコーテック	電子関連事業
株式会社メイコーテクノ	電子関連事業
名幸電子(広州南沙)有限公司	電子関連事業
名幸電子(武漢)有限公司	電子関連事業
名幸電子香港有限公司	電子関連事業
Meiko Electronics Vietnam Co., Ltd.	電子関連事業
Meiko Electronics Thang Long Co., Ltd.	電子関連事業
Meiko Electronics America, Inc.	電子関連事業
Meiko Electronics Europe GmbH	電子関連事業

株式情報

発行可能株式総数 70,000,000株
 発行済株式の総数 26,173,971株
 (自己株式 629,349株を除く)
 株主数 4,241名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
名屋 佑一郎	4,702	17.97
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	2,133	8.15
JP MORGAN CHASE BANK 380634	740	2.83
株式会社ゆうちょ銀行	735	2.81
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	670	2.56
名幸興産株式会社	608	2.32
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	566	2.17
有限会社ユーホー	521	1.99
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	465	1.78
名屋 精一	435	1.66

*当社は、自己株式 629,349株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
 また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況(普通株式)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先) 〒168-0063
 東京都杉並区泉東二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) ☎ 0120-782-031
 上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
 公告の方法 電子公告により当社ウェブサイトに掲載
 http://www.meiko-elec.com/ir/pa.shtml
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株式に関するお問合せ

- 住所変更、配当金受取り方法の変更等のお手続きは、お取引の証券会社にお問合せください。
- 証券会社の口座をご利用でない株主様、未払配当金のお手続きは、左記三井住友信託銀行証券代行部にお問合せください。



本 社 〒252-1104 神奈川県綾瀬市大上5-14-15 ホームページ <http://www.meiko-elec.com/>
 TEL: 0467 (76) 6001 (大代表)

見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている情報につきましては、当社の計画、業績など将来の見通しに関する記述が含まれており、これらの記述は、その時点で入手可能な情報および当社が合理的であると判断する一定の前提条件に基づいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これらと異なる結果となり得ることをご承知おきください。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。